

## 地域活性化施策報告書の構成要素 －情報活用のための提案－

津嶋 大悟

これまで、過疎化や高齢化などの問題に対応するために「地域活性化」の取組がとられてきた。2020年にも「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が閣議で決定されると、地方創生臨時交付金や地域企業支援が行われた。これらの地域活性化施策は、地域の何かしらの課題を解決するために行われているため、実際に行われた事例を参考にしたい団体があった場合、解決すべき地域の課題から施策報告書を参照したいという要望が考えられる。しかし、報告書が解決したい地域の課題に関連するものかどうかについて判断するには、地域の課題が報告書のタイトルだけでわからなかったり、報告書のどこに地域の課題について記述されているかわからなかったりするといった問題がある。さらに、報告書は省庁ごとの検索しかできなく、報告書を探す際に目的に合っていないホームページや報告書や文章を読んでしまう可能性がある。全省庁を網羅した検索を目指すにも、省庁の地域活性化施策情報の検索については研究されていないため、どのようにすべきか不明瞭である。

そこで本研究では、全省庁から地域活性化施策報告書を収集し、集まった441件を調査対象として、現在、省庁ごとの探索しか可能でない、地域活性化施策報告書の構成要素・内容を分析し、解決すべき地域の課題についての情報が構成要素のどこに含まれるか調査した。本研究は、特定の地域活性化施策報告書が地域の解決すべき課題に関連するものかどうかについての判断を支援するために、報告書内で地域の課題の記述箇所となった記載項目について調査し現状を明らかにし、情報活用につながる提案を目指すものである。

本研究により、地域活性化施策報告書が地域の課題について記述していること、報告書の記載項目の表記が多様であること、報告書の形式が多様であること、別の報告書と合わさっていて個別に探せないものが大半を占めていることがわかった。このことから、全省庁を網羅した地域活性化施策報告書検索において、「地域の課題別検索」と「報告書の形式別検索」への可能性が現れた。また、参照したい情報に応じて見るべき場所を指定できるように記載項目の表記を情報ごとに統一することや、報告書を個別に検索できるように複数の報告書が合わさっているものを報告書単位で解体することを提案できた。

本研究で、地域活性化施策報告書のどこに地域の課題について書かれているか、記載項目の表記がどれだけ多様か、多様な表記をどのようにしたら簡単に参照したい報告書を見つけることができるのか、などを明らかにすることができ、これは、報告書の検索を容易にする一助となると考えられる。今後は、全省庁を網羅した地域活性化施策報告書検索における「地域の課題別検索」と「報告書の形式別検索」の実現のために、地域の課題の分類基準と、地域活性化施策報告書の形式の分類基準について研究する必要があると考えられる。

(指導教員 三波千穂美)